

第4回 プレゼン大会 結果報告

10月19日（木）に経済学部主催「第4回プレゼン大会」を開催しました。「プレゼン・ディベート大会」からの通算で14回目となる本大会には、総勢5チームが参加しました。

当日は、本年度のテーマである「ファイターズの本拠地はどこがいい？」に沿って、各チームによって、北大や北広島を候補地とした独創的な提案がなされました。また、それぞれの発表に対して、他チームから多くの質問が投げかけられ、約3時間にわたって白熱した大会となりました。

参加学生にとっては、準備に時間をかけた研究内容を発表する良い機会になったものと思われます。また、ファイターズの新本拠地球場という共通テーマでも、様々なアプローチがあることを知ることができたのではないのでしょうか。本大会を通じて学んだ内容を今後の学生生活に活かしてもらいたいと思います。



参加チームからは「建設的な議論ができた」、「テーマに関する議論が盛り上がった」という意見や、今後に向けて「ゼミ対抗のような大会にしたらおもしろい」という感想などが寄せられました。

どのチームの発表も甲乙つけがたい完成度であったため、審査も慎重を期すものとなりました。最終的には以下の2チームが表彰対象となりました。いずれも北大を移転候補地とした提案でした。

優勝
「チームロマック」(吉見ゼミ)
準優勝
「高井ゼミ4年生」



優勝チーム「チームロマック」(吉見ゼミ)は、「日本初! キャンパスボールパーク」というテーマにもとづいて、観客、球団、選手、周辺住民という4つの視点から、北大が候補地として優位性を持つ点を具体的に検討していました。観客や選手にとってのアクセスの良さ、周辺住民の不安解消、北大と球団の連携によるメリットなどが示されました。他候補地との比較も含めて、手堅くまとめている点が高く評価されました。



準優勝チーム「高井ゼミ4年生」は、収益性と波及効果に注目し、球団、地域、大学という3つの側面に基づいた提案が行われました。特に、オフシーズンに地域住民の健康対策のために球場を貸し出すなどといったユニークな提案が評価されました。



初の平日開催で運営側は若干の不安を持っておりましたが、多くの学生、教員の方に参加いただき、盛況のうちに大会を終えることができました。参加学生のみなさん、来場者の方々に御礼申し上げます。

(教務委員)